

幸学習館 令和7年度

春色コンサート



りえ
(チェロ、津軽民謡)



荒井俊匡
(歌手:バスバリトン)



森下柚香
(ピアノ、チェンバロ、オルガン)

音楽グループ「こいねこ」の皆さんによる、声楽とピアノ・チェロで奏でる春の音色をお楽しみください。クラシックや映画音楽など、どなたでも親しみやすい曲を中心にお届けします

☆当日の演奏曲(予定)

【ナポリ民謡 O sole mio】【シューマン作曲 トロイメライ】
【モーツアルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」より抜粋】ほか

【日 時】令和8年(2026年)3月1日(日)

午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

【会 場】立川市幸学習館(立川市幸町2-1-3) ※裏面参照

【定 員】80人(申込順) 【費 用】無 料 【対 象】小学生以上

【保 育】あり(若干名…1歳～学齢前)

【申込み】1月27日(火)午前8時30分から

電話(042-534-3076)または電子申請

右の二次元コードからお申し込みください ⇒

【問合せ先】幸学習館 042-534-3076



企画・運営:立川市生涯学習推進センター

たちかわ市民交流大学

【メンバー紹介】

荒井俊匡(歌手:バスバリトン)

洗足音楽大学音楽学部声楽科卒業。

ドイツリートを佐藤征一郎イタリア・フィレンツェにてオペラ歌手Franco Pagliazzi氏に師事。オペラ《魔笛》(パパゲーノ役)、《フィガロの結婚》(フィガロ役)などオペラを中心に出演。2005年より台湾に拠点を移し、牯嶺街劇場を中心活動。

音楽劇《牯嶺街小劇場 驅魔記2(エクソシズム2)》(悪魔役／2009年・2010年)、実験映画プロジェクト《Exit》(2012年)、《百年の孤独三部曲》(2012年 第三回台湾国際メディア芸術展)などに出演。また、アメリカ・ダラスで開催されたICMCにて、作曲家Sandra氏作曲《Dirge(レクイエム)》が入選し、声としてアメリカ・ダラスで発表。台湾ではTV番組出演のほか、日本酒メーカー《玉泉清酒》のテレビCMにも出演。

2013年12月24日、バイクによる交通事故に遭い、左側の聴覚に障害を負ったため音楽活動から引退・帰国。その後、交通事故のリハビリの一環として2019年に市民劇団での活動を開始。保育園等での演劇出演や、2023年には市民オペラ《魔笛》にて僧侶役を務めるなど、活動を再開している。

森下柚香(ピアノ、チェンバロ、オルガン)

日本大学藝術学部音楽学科卒業。日本チェンバロ協会会員

幼少よりピアノ、ソルフェージュ、作曲を学ぶ、ピアノを内藤孝子、重松聰、赤澤立三各氏に師事。チェンバロを山田貢、新谷久子各氏に師事、ボブ・ファン・アスペレン氏のマスタークラス受講。パイプオルガンをディヴィッド・ピッカリング氏に師事。作曲を青木進氏に師事。

古楽の森コンサート、NHK-BS放送、ゲートシティ大崎、神保町三井ビルディング、日本ルネサンス音楽普及協会等の演奏会に出演。チェンバロコンチェルトのソリストとしても出演し好評を博す。また、東京オペラシティ近江楽堂やアメリカなどでソロ・アンサンブルの演奏会を多数行う。

ルネサンス、バロック音楽を中心に、鍵盤音楽の可能性を求めて様々なジャンルの音楽にアプローチを試みる。現在はソロ・アンサンブルや伴奏・通奏低音奏者として演奏する傍ら、親子で楽しめるコンサートへの出演や音楽療法・訪問演奏などの社会活動も積極的に行っている。

りえ(チェロ、津軽民謡)

青森県出身。

大阪フィルハーモニー交響楽団チェリストであり、津軽三味線奏者・指導者でもあった故・中野孝憲を父に持ち、クラシックと津軽民謡、二つの音楽文化の中で育つ。姉2人とともに幼い頃から舞台に立ち、家族で全国各地の民謡公演に出演。ピアノ、三味線、唄、手踊りを身につけ、多楽器環境の中で音楽への感性を磨く。

高校からアメリカに留学。現地日本人コミュニティーの招待を受け、父とともに2年連続で公演を行うなど、若くして国際的な演奏経験を重ねた。

しばらく音楽から離れていたものの、父の死後、その愛器だったチェロを引き継ぎ、9年前より音楽の世界に戻り、多くの方々にクラシックと津軽民謡両方を楽しんで頂けるよう演奏活動を行っている。



★会場アクセス

○立川駅北口からバス利用の場合

JR立川駅北口バスターミナル9番(西武バス)

[行き先]幸町団地(立川八小経由)

[停留所]立川八小(乗車時間約15分)

○モノレール利用の場合

多摩都市モノレール泉体育館駅より徒歩7分

※駐車場はご利用できないので、公共交通機関等でお越しください。